

駆け足で京都を歩く

京都で昼から出版関係の会議があり、それまで散策しようと朝一番の新幹線に乗り、7時過ぎには駅前のバスターミナルに着いた。500円で1日乗車券を買って、「観光マップ」を手に入れた。どこに行くか迷ったが、1年半ぶりに「哲学の道」に向かった。ゼミ旅行の時とは違って、まだ朝早かったので、歩いている人も少なかった。新緑の小道はやはり気持ちよく、足取りも軽かった。



「哲学の道」をすこし曲がると法然院につく。

ここもゼミ旅行の際に訪れたが、木立に囲まれた静寂な境内は風情があり、心をなごませてくれた。賑わいのある神社仏閣よりも、法然院のような緑豊かで静寂な雰囲気のところが好きだ。



法然院から銀閣寺通りを経て、下鴨神社に向かった。正式には「賀茂御祖神社」といい、京都でも上賀茂神社と並んで最も古い神社の一つであり、世界文化遺産にも登録されている。有名なだけに参拝客も多かった。豪華な社殿よりも、賀茂川と高野川に囲まれた三角地帯にある「糾ノ森」と呼ばれる深い木々に覆われた長い参道が気に入った。参道の途中の椅子に腰掛けて、ぼんやり森を眺めていると、時の流れを忘れるようであった。



(2008年6月8日 記)